

1、道路緑化の役割

ア) 周辺環境との調和および景観向上

緑化空間の形成により、各家の採光や通風を確保し、
景観の向上、ヒートアイランド現象の緩和、大気浄化、

5 交通騒音の低減効果がある。

イ) 道路利用者の安全性、快適性の向上

視覚や線形予告等の誘導機能、明暗順応、遮光、立
入防止、緩衝等の事故防止機能、緑陰による休憩助成
機能等がある。

10 2、留意点

ア) 周辺環境との調和および景観向上の留意点

道路計画においては、植栽地の意匠並びに樹木等の
構成及び配置の決定にあたり、気象条件、緑化等に関
係する地域の計画との整合、沿道状況、美しい景観形

15 成、想定される維持管理水準（剪定頻度等）等に留意
すること。

イ) 道路利用者の安全性、快適性向上の留意点

植栽設計においては、供用後の枝葉の繁茂や剪定頻
度等も考慮に入れ、交差点内の視距や横断歩道の歩行

20 者等の視認性、歩行者や車両の通行空間の確保に支障
を生じないよう留意する。また、日本風景街道等の美
しい景観形成が必要な地域や、景観法に基づく景観重
要公共施設においては、樹形や植栽地の美しさを維持
するため、十分な剪定や除草等の頻度を確保するなど

25 の措置を講じることが望ましい。